

## 岸田文雄首相に申し入れ

### 核兵器の使用を許すな ～「被爆の実相」を世界に発信するのが日本の責務～

いま世界はウクライナ危機により、核兵器が実戦で使用されかねない脅威に直面しています。

昨年5月18日、公明党の山口那津男代表とともに、首相官邸で岸田文雄首相に対し、核兵器の使用を断じて阻止し、広島、長崎への原爆投下以降、77年に及ぶ「核兵器の不使用の記録」を維持するための緊急提言を手渡しました。唯一の戦争被爆国である日本こそ、「被爆の実相」を世界に伝え、核兵器国と非核兵器国との間の橋渡し役となる責務があることを訴えました。

また、米国をはじめとする核保有国の核兵器禁止条約に対する理解を醸成し、日本が締約国会議にオブザーバー参加するための環境整備に努めるよう求めました。

まずは、G7広島サミットで「核兵器のない世界」に向けた大きな一歩を踏み出せるよう、党核廃絶推進委員会でも議論を深め、NGOなど市民社会の皆様とも連携して取り組みを進めてまいります。



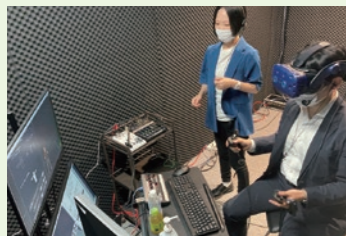
### 再エネを主力電源に ～原発に依存しない社会に向けて～



昨年12月12日、首相官邸で岸田文雄首相と会い、公明党総合エネルギー対策本部の申し入れを行いました。これからのエネルギーの安定供給と脱炭素社会を目指してGX(グリーントランスフォーメーション)の実現に向けた提言書を手渡しました。

日本には脱炭素化とエネルギー自給への挑戦を経済成長につなげる技術の種はありますが、商用化で他国に先を越される事が少なくありません。太陽光パネル、蓄電池、そして水素までもが「周回遅れ」と言われ始めた今、「再生可能エネルギーを主力電源に」するとの強い決意を岸田首相に求めました。

#### PHOTO REPORT



メタバース(仮想空間)上で開催された政治イベントに初参加(5月)



ニコ生で公明党の参院選公約をプレゼン(6月)



原爆死没者慰霊碑へ献花(7月・広島市)



学校形式の授業を取り入れたディサービス施設を視察(10月・前橋市)

#### PROFILE

1974年長野県生まれ。東京都出身。東京大学法学部卒。IESEビジネススクール経営学修士(MBA)。米シティバンクを経て、戦略系コンサルティング会社で企業再生や海外市場戦略の策定などに従事。2018年10月まで経済産業大臣政務官、内閣府大臣政務官、復興大臣政務官を務める。公明党広報委員長代理、同外交部会長。参議院議員2期。

ホームページ  
<https://hiraki.komeinet.com/>

ツイッター  
[https://twitter.com/Hiraki\\_Daisaku](https://twitter.com/Hiraki_Daisaku)

フェイスブック  
<https://www.facebook.com/Hiraki.Daisaku>

#### メルマガ会員募集中!

右のQRコードから、またはアドレスへ空メールを送り、登録をお願いします。

[daisaku\\_hiraki@m.bmb.jp](mailto:daisaku_hiraki@m.bmb.jp)



参議院議員

## 平木だいさく NEWS

2023年  
新春号

H I R A K I D A I S A K U N E W S

発行日: 2023年1月 発行元: 公明党参議院比例区第3総支部 千葉県船橋市湊町1-7-4 B号室



## 安心と希望を届ける。

「核戦争に勝者はなく、決して戦ってはならない」

昨年1月、米露英仏中5か国による共同声明は、国際社会に久方ぶりの明るいニュースをもたらしました。

1985年のレーガン・ゴルバチョフ宣言が冷戦終結への転換点となり、米ソが戦略核削減に向けて動き出す起点となったことを想起しながら、新冷戦と核の復権が言われる時代に明るい光明を見る思いがしたのは、私ひとりではなかったはずです。

しかし、その期待はロシアによるウクライナ侵略と核の威嚇によって、早々に潰えることとなりました。

新型コロナウイルスの猛威、気候変動に伴う風水害の激甚化、そして物価高騰も世界に暗い影を落したままです。

地球規模の課題が各国の政治基盤を揺るがし、戦後の国際秩序が挑戦を受ける中であって、本年、日本はG7の議長国を務めることとなります。

世界の平和と安定に向けて、日本がそのリーダーシップを十二分に発揮できるよう、与党の一員として、力を尽くしたいと思います。

本年はまた、統一地方選の年でもあります。

生活者に、地域に、最も身近なところで活動する地方議会こそ、公明党の原点であり、力の源泉です。

政治不信が蔓延する国内の政治状況の中で、悩めるひとりに寄り添い、どこまでも誠実に働いてきた公明党の地方議員は、地域において、これまで以上に必要とされる存在であることを信じてやみません。

「大衆とともに」との立党精神から六十星霜。

もう一度生まれ変わった決意と、これまでの限界を突き破る勢いで、安心と希望を届けるべく、駆け抜けてまいります。

参議院議員 平木大作



### 参院選 公明13人当選の大善戦

昨年7月10日に投票された第26回参議院議員通常選挙では、公明党は公認候補を擁立した7選挙区で全員当選。比例区では、竹内真二さんをはじめ6人が当選し、合計で13議席を獲得しました。非改選議席と合わせると27議席の陣容となりました。

皆さまから温かなご支援をいただき、誠にありがとうございました。激動する世界情勢の中、一層安定した政治基盤で、内外の諸問題に取り組んでまいります。